

2023 年度第 1 回一年生クラス代表懇談会 当日の意見まとめ（授業・履修関連）

※クラス代表懇談会当日にいただいた意見を整理したものです。

◎は 5 件以上あった意見、○は 2 件以上あった意見につけています。

また、矢印（→）で表した部分は、マルチリンガル教育センターからの回答やコメントをまとめたものです。

1. 授業について

1-1. 授業の実施形態・授業支援システムについて

- ・オンデマンドの講義、授業録画の配信のようなオンライン上で受けられる講義を増やしてほしい。
- ・マイクやプロジェクターの使い方がわからない先生がいて、10～15分開始が遅れることがある。先生たちへの機器の使い方講座などは開催されないのか。初回授業に限らず調子の悪い日がある。トラブルにすぐ対応してくれる人がいればよい。
- ・授業スライドの文字が小さく読めないとき、資料がアップされていないと困る。印刷して手元でも読めるようになれば助かる。

1-2. 授業の内容について

- ・対面授業でもスライドの内容を先生が話しているだけの授業がある。オンデマンドと変わらないのでアクティビティをもっとしてほしい。

1-3. 講義室について

○豊総 402 教室のマイクがぶつぶつ途切れる。

- ・共通棟 2F の講義室を、食事可能スペースとして広げてもらえれば。
- ・授業等で Zoom を使う時、校内で声を出せる場所がわからない。パッと見てわかるようにしてほしい。
- ・ウォーターサーバー、コンセント、時計等を教室において欲しい。
- ・先日コロナに感染し自宅から授業の配信を受講していたが、黒板の字を読むのが大変で友人からノートを借りて対応した。収録設備がいまいちだと感じる。設備があるならば授業のアーカイブ配信もしてはどうか。

1-4. マルチリンガル教育科目について

◎第二外国語が週に 2 コマあるが、内容がかぶっている。

→新しい言語を初めて学ぶ段階では、自然と似通ってくるところがある。内容の重複がむしろ学習効果を高めるという考え方がある。初めて学ぶ文法など、週 1 では難しいところを、週 2 回違った先生の切り口で繰り返すことで慣れていくというのは、長い間多くの大学の伝統としてやってきたことでもある。ある学生が週 2 回学んでいるクラスは、必ずしもクラス全員にとってその 2 クラスで完全に 1 対 1 に対応しているわけでもない。言語にもよるだろうが、まったく同じ先生には当たらないように工夫している。むしろ、せっかく週 2 回授業があるのに進度に差がありすぎて、ある項目について片方のクラスでしか触れないために分かりづらい点が生じるようなら、そうした問題は改善を考えていきたい。

◎授業ごとにレベルや内容が違う。

→英語の授業は意図的に内容がバラバラになっており、eラーニングではみんなが同じことを勉強するようにしている。大学英語では「プレゼンがしたい」「ディスカッションがしたい」など、それぞれの学生が求めるものに応じて授業を設計している。やることが違ってくるのは、そのように分業しているから。大学では、先生の数だけ教え方やクラスの運営のやり方がある。ただ、評定に偏りができるのは見過ごせないで、先生方に成績の付け方について配慮のお願いをしている。

○英語の課題の量が先生によって違い、多すぎると困る。

→授業内容によって課題の内容が変わってしまうのは、それだけ授業の種類が多いという良さにも関係している。極端に高い負荷をかけないように、という周知はコロナ中にも行っている。シラバスにも課題の頻度などは書かれているはず。英語科目には「実践英語」「大学英語」の区別があり、eラーニングによる画一的な内容と、バラエティに富む授業とがある。

○人を貶すような発言をする特定の先生がいる。

→適切でない発言についてはハラスメント相談室で対応できる。この件に限らず、明らかに不適切であろうというものについては、相談者の意向を聞いた上で関係者に通達することも可能。伝えることで悪化するケースもあるので、丁寧に対応していきたい。守秘義務の徹底、相談者の意向なしに動くこともないので安心して欲しい。

- ・資格試験の申し込みチャンスを逃さないためにeラーニング免除基準の通知をもっと早くしてほしい。

→担当の先生方に伝えておく。

- ・eラーニングがどういったものなのかわからない。いつまでに、何をすべきかの案内をしてほしい。

→周知については先生方にもお願いするが、わからないことは先生に質問したり、説明会でも質問したりしてみしてほしい。

- ・eラーニングのアナウンスをもっと欲しい。

→できる限り丁寧に発信するようにしている。

- ・メールで届いた案内に「？」マークがついていた。

→メールの文字化けと思われるが、いずれにせよ不明点はその都度問い合わせるとより円滑になるのではないかと。窓口の対応はいつでもできるようにしているのでぜひ問い合わせを。

- ・先輩からeラーニングはただの作業になっていて、勉強にならないと聞く。
- ・実用英語(eラーニング)の免除規定について、TOEFLとTOEICの難易度の違いを考慮していないのでは。

→換算点で判断しているはずだが、確認する。

- ・eラーニングが始まると聞くが、あれは休日にまで負担が発生するのか。

→いつでもどこでも、基準学習時間に従って行える。効率よくやれば平日の空き時間でも十分できると思う。

- ・総合英語の分類について、シラバスとの対応関係がわかりにくい。

→履修の手引、シラバス、Webサイトなどを見直したい。

- ・第二外国語の選択時期が早すぎる。合格通知とともに選択しなければならなかった。シラバスが見られる時期との兼ね合いもあり選びづらかった。

→4月に授業を始めるためには、その時期に選択してもらえない。

- ・留学生の第二外国語は日本語となっているが、ドイツ語、フランス語等に変更したい。

→教務係に聞いてみてほしい。

- ・入学段階で選べる言語が4種なのはなぜ？

→阪大は確かに選べる言語が少なく、このことに関してはよく言われているし、問題だと認識している。

- ・外国語科目は学習時間・授業時間に比して、もらえる単位が少ない。

→単位数については良い意見なので持ち帰る。

- ・特別外国語演習は一年次から学習できると思うが、分かっていない部分が多いので、説明を詳しく Web 上でもやってほしい。

→卒業要件単位にならない可能性もあり、あまり宣伝していなかったが、検討させてほしい。外国語学部の卒業要件単位になるかどうか、学部の教務にも確認してほしい。

- ・留学に関する情報がもうちょっとアクセスしやすかったら嬉しい。KOAN でよいので、これからの予定（例年の予定）みたいなものが欲しい。

→管轄はマルチリンガル教育センターではないが、いろいろな場所で発言してゆきたい。

- ・あまりにも先生の喋りが長く、受講生の多くが寝ている授業がある。

→個別の授業に関して、マルチリンガルの教務にご相談していただけると、匿名で先生に伝えることができる。

- ・外国語学部の一年生は第二外国語を取ることができないが、兼修外国語の授業について知りたい。

→全教の管轄はマルチリンガル科目のみ。兼修外国語の授業は専門科目なので、外国語学部に問い合わせさせてみてほしい。

- ・英語に関して。総合英語3(ネイティブの先生の授業)を少人数にしてほしい。

→先生の人数を考えると厳しそうだが、検討する。

- ・外国語学部の入試は、英語を使わない場合もあるが、そういった人たちにとっては授業のレベルが高すぎる。

→担当の先生に伝えておく。

・e ラーニングが秋冬学期から始まるが、案内がよく分からないという声があった。e ラーニングはオンライン上で行うので、CLE や KOAN の案内を注意して見てほしい。分からないことがあったら担当の教員に質問してほしい。

1-5. その他授業について

- ・授業が長引く先生がいて、次の授業に間に合わないことがある。

- ・外国語学部で、英語専攻以外は専攻語と総合英語以外の語学が受けられない。他の学部のように第二外国語も履修したい。

- ・体育の授業で、バレーは男子の割合がすごく少ない。やりづらさを感じる。サッカーはその逆になっており、配慮してもらえれば。

- ・体育のスポーツ実習 A とスポーツ科学 A の違いは？どちらもバレーやバスケなどを行うのに、なぜ科目を変える必要があるのか？

- ・アラビア語に関して、他の専攻語と比べても予習量が多く、留年率も高いと先輩に聞いた。真面目にやっているのに進級できるかわからないのが怖い。真面目に授業に参加しているのに落ちるのは理不尽ではないか。

- ・コロナ前は昼休みが60分で、5限の終わりの30分早かった。大阪大学もコロナの状況が落ち着いてきた中で、これからも90分確保し続けるのか。短くしてもよいのではないか。

- ・出席点を設けているのに、出席カードを山積みにしており、2枚とって代返が可能になっている授業が

ある。出席点がないなら納得できるが、そこに点をつけるのなら、真面目に受けている人間にとっては不公平感がある。

- ・ 学問への扉は 1 クラスの受け入れ人数が制限されているが、前年度の希望者数などを鑑みて受け入れ人数を調整すればいいのでは。
- ・ 休み時間 10 分で移動が間に合わない。

2. 教務に関する意見

2-1. 履修登録手続きについて

◎履修登録では先輩に相談する必要があった。

◎いつまでに何を修得すればよいのかなど、詳しいことを知ることができなかった。

◎先輩がどのように履修しているかの例を知りたい。

○学部のガイダンスで履修についての詳しい説明がなかった。学部ごとに違いがあるもよう。

○兼修語学の履修登録が難しかった。

- ・ 説明会の際の資料が雑多でどれを読めばいいのか困った。
- ・ 履修の手引きの表記は厳密だったが、簡潔にまとめてあるページもあってよいのでは。
- ・ 履修登録について、メールや掲示板での連絡がいろいろあって頭がこんがらがった。
- ・ 履修登録のようすを画面録画したような動画が分かりやすかった。
- ・ 「履修の手引き」は基盤教養について分かりにくかった。専門に関しても、基盤教養と同じように Web 上で見られるとよい。
- ・ 履修登録のシステムを短い時間で理解するのが難しい。自分が打ち込んだ情報がどう処理されているのか開示してほしい。最終的に履修が決まるまでのプロセスがわからない。
- ・ 新入生とそれ以外の学年で履修登録の時期が違う。それを知らないまま、他学年の情報を見て混乱した。登録期間が違うことを強調してほしい。Web で「新入生はこちら」という案内をはっきりしてほしい。履修手引きを見て初めてわかった。
- ・ 教職がとりにくい。
- ・ 連絡ツール (CLE, KOAN など) が多く、履修登録についてはどこに連絡したらいいかがわからない学生がいた。
- ・ 単位が春学期と夏学期で 1 ずつ出る講義は、どちらかを取りそびれると単位の計算がしにくくなる
- ・ 基盤教養の授業の履修登録で第 10 希望まで出せるが、第 10 希望も通らなくて全く興味のない授業になった。希望がどれも通らないなら、別の授業が入るのではなく、何も入れず空いたままの方が、他に興味のある科目を追加することができると思う。
- ・ 履修登録の期間が全教と専門科目で違う、という周知がされておらず、学科のライングループで情報を回すなどして対処した。先輩からの情報が頼りで、全学の案内はあっても学部学科の話がなく、丸投げされていた。
- ・ 必修分野について、基礎から進めてほしい。
- ・ 「学問への扉」の曜日時限は 2 コマ分あるが、1 コマだけとればよく、あいた曜日時限に基盤教養科目が取れる、という説明をしてほしかった。時間割に注意書き等があるほうがわかりやすい。
- ・ 教職科目が 5~6 限に固まっていて、履修を組みにくい。他の大学はそのようなやり方をしていないらしいので、固めたりせずに、午前中などのあいている時間を活用してほしい。
- ・ 全教ホームページの時間割が見にくかった。選択必修と必修の区別がされておらず「学問への扉」履修

が週に2コマ必修かと勘違いした人が何人もいた。

- ・学部の案内では単位数の事務的な案内が主だったので、先輩の時間割例なども見せてほしい。
- ・経済学部は同窓会の先輩が手伝ってくれて困らなかった。
- ・自動的に登録される科目が大半でそんなに困らない。
- ・専攻語の必修はすでに登録されていて問題なかったが、スポーツ科目などがどこに入るかが知らされておらず履修登録に支障が出た。
- ・情報基礎など、あらかじめ時限が決まっている科目が一目でわかるようになっているとありがたい。

2-2. その他教務について

- ・土曜日に自習しに来たいが教室が開いていない。室内で勉強したい。
- ・欠席連絡などを教務に出しに行くことになっているが、授業などで時間がない中で教務が空いている時間に提出しに行くのが難しい。
- ・体調不良の際に、長期であれば各担当教員に逐次連絡しなければならない。先生に一括で連絡するシステムはないのか。先生によって体調不良での欠席の扱いに差がある。しょうがないから出席にする先生もいれば、普通に欠席扱いの先生も。統一して欲しい。
- ・構内で落とし物をしたときに教務に行ったが、4限が終わって行ったら閉まっていた。忘れ物に気づいた時は授業後になるので大抵しまっている。そういう時間帯でも相談できる場所が欲しい。
- ・大雨などのとき、休講の判断を統一してほしい。電車が止まってからでないと休講にならないのはいかなものか。
- ・全教の教務の場所が分かりにくい。「かさね」の上にも窓口があり、どこかにまとめておいてほしい。
- ・KOANの30分タイマーが邪魔。
- ・KOANの掲示板を確認する習慣があまりない。OUMailから私用のメールアドレスに転送設定をしていて、メールで届く分はしっかりチェックしているという人が多い。
- ・KOAN 掲示板に既読/未読のチェックがつけられたらわかりやすいと思う。KOAN 掲示板のページの一番初めに表示されるページでは未読一覧がわかるが、そこから「教務一覧」など、各部署のところに飛ぶと未読か既読かがわからなくなるので、そこでもわかるようになったら使いやすい。
- ・授業のお知らせをKOANかCLEにまとめてほしい。

2-3. チャットボットについて

- ・存在は知っていたが使わなくても大丈夫だった。
- ・チャットボットを使ったが欲しい答えが得られなかった。
- ・聞きたい内容と予め用意されたジャンルが異なる場合に、自由入力させてほしかった。
- ・チャットボットより対面のほうが相談しやすい。
- ・ないよりある方がいいが回答がふんわりしている。必要な情報のリンクを与えてほしい。
- ・一回使って、普通に自分で調べたほうが早いなと思った。
- ・存在があまり認知されていない。
- ・まわりに聞いたほうが安心できる。
- ・自分の分かっている点を分かっていると使えないシステム。
- ・漠然と分からないことが多い。
- ・ちょっとした疑問が解決できて便利。

3. その他の意見や質問

- ・工学部の分属について。例えば地総は建築がやりたい人が多いが、希望どおりのところにいけないのはよくないのでは？